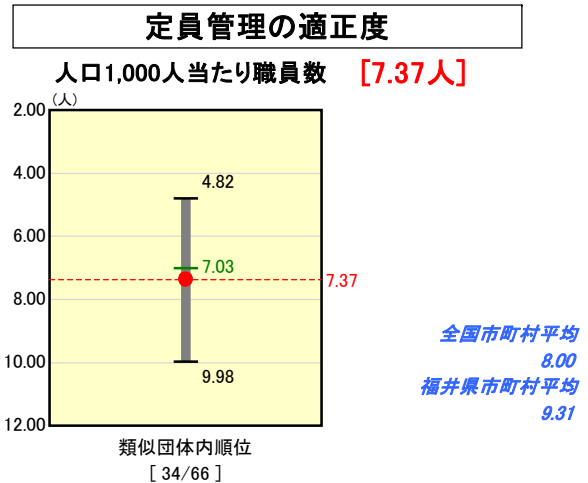
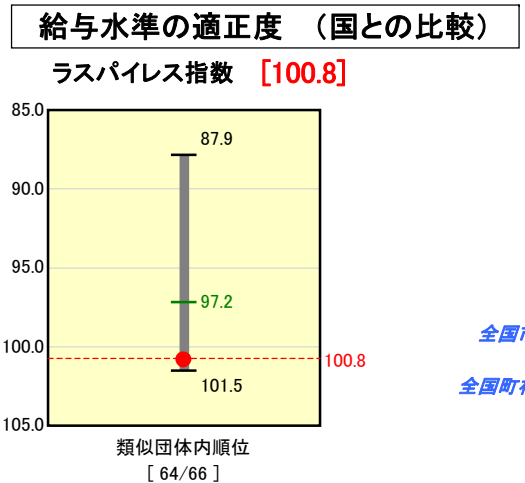
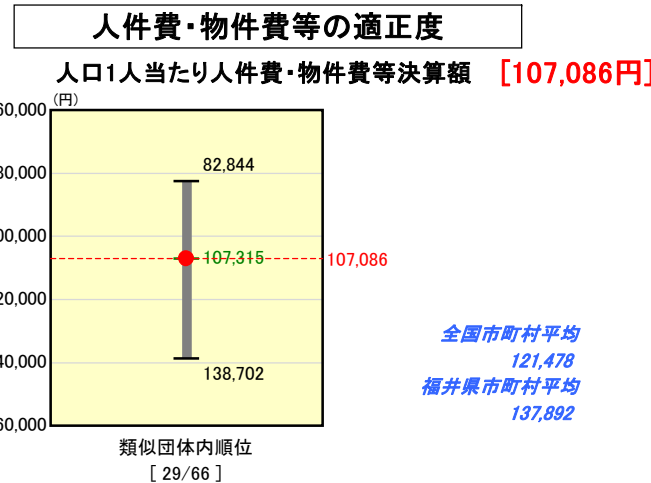
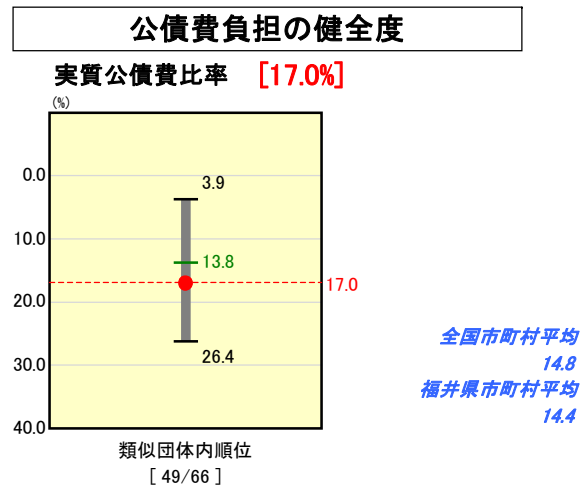
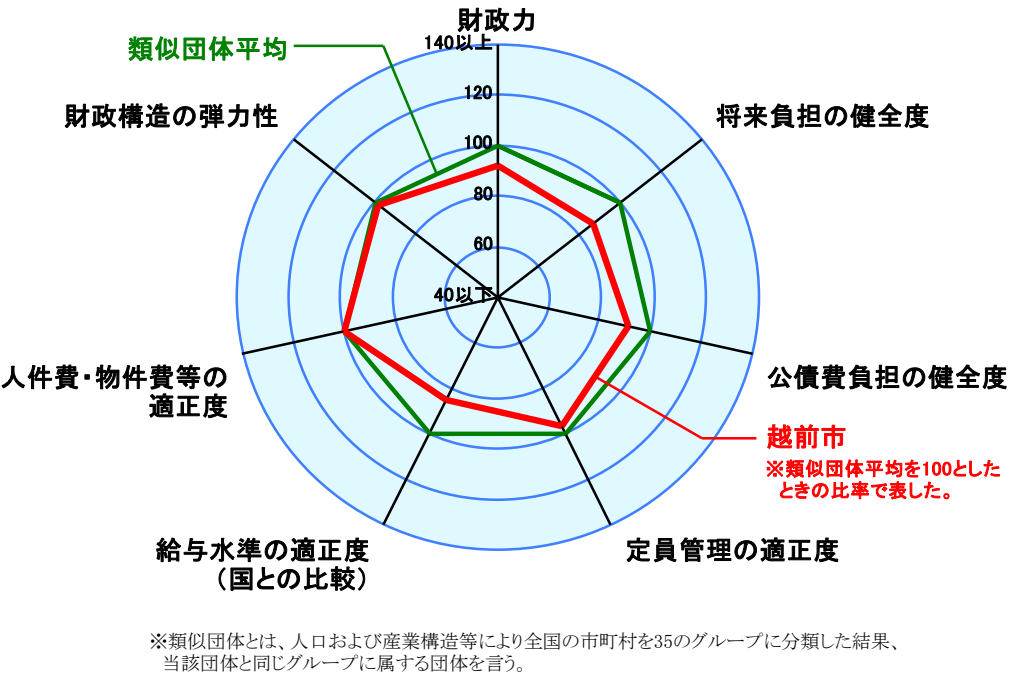
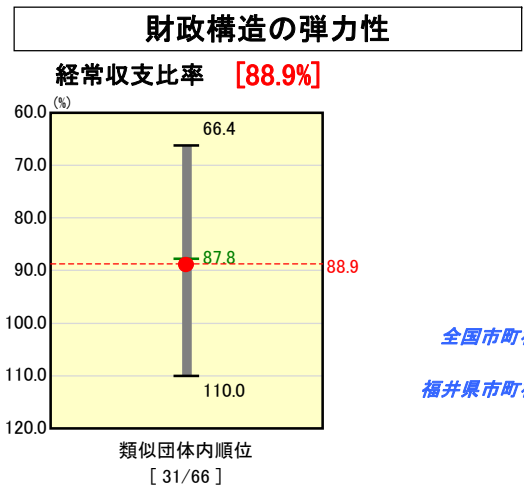
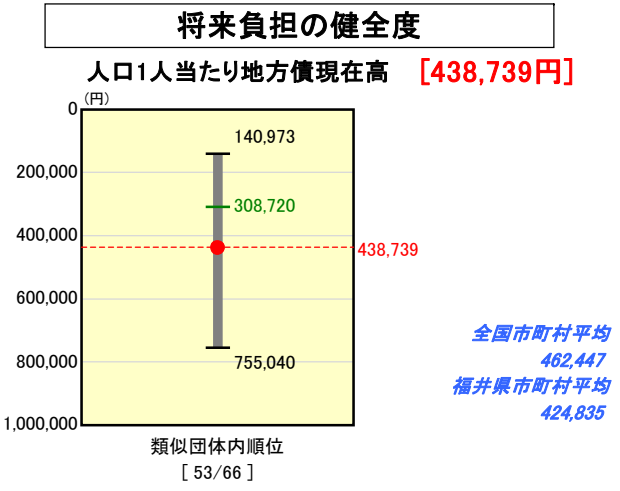
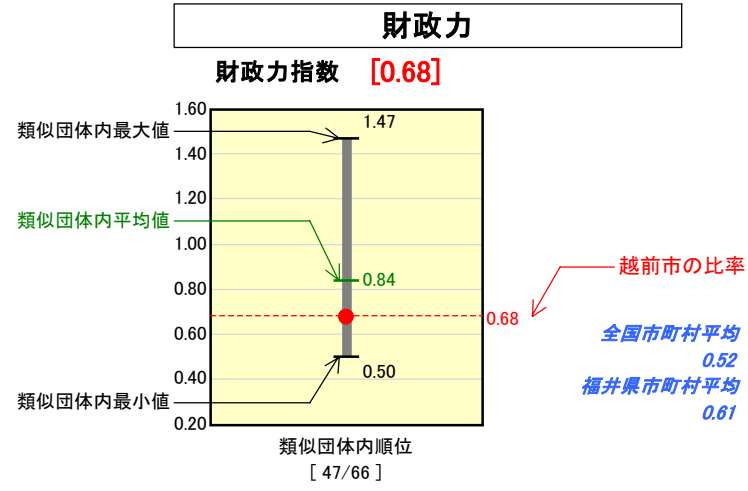


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 福井県 越前市

人口	84,511人	(H18.3.31現在)
面積	230.75	km <sup>2</sup>
歳入総額	32,273,466	千円
歳出総額	31,086,880	千円
実質収支	1,152,678	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

※平成17年10月1に、旧武生市と旧今立町の合併により、越前市となった。

●**財政力指数**  
県内の製造品出荷額等の22%を占めている本市の製造業を中心とした法人関係の税収により、全国市町村平均および県内市町村平均は上回っているものの、類似団体平均と比較すると下回っている。今後とも、市税の特別本部の設置、コンビニ収納の導入により税収の確保に努める。

●**経常収支比率**  
経常収支比率は88.9%で、主な義務的経費の内訳は、人件費23.7%、扶助費6.5%、公債費19.5%となっている。今後、扶助費等の増加が見込まれる中、平成21年度までの行財政改革プログラムに掲げる重点目標の歳入の削減、歳入の確保等、財政基盤の強化に努める。

●**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
類似団体平均と比較しほぼ同額であるが、今後も、指定管理者制度の導入など、施設管理の民営化を一層進めるとともに、コストの逡減を図っていく。

●**人口1人当たり地方債現在高**  
類似団体平均を上回っており、今後も耐震診断を踏まえた教育施設の改築をはじめ、新市の一体化を目指した「幹線道路 戸谷片屋線」の整備など大型プロジェクトが予定されていることから、他事業の地方債の発行の抑制等に努め、財政の健全化に努める。

●**実質公債費比率**  
類似団体平均13.8%、県平均14.4%を上回る17.0%となっているが、公営企業会計への公債費充当繰出の抑制等により、今後は減少するものと推計している。新たな目標値として16.0%以下とした新行財政構造改革プログラム(計画年度 H19~H23)を策定しており、今後も、プライマリーバランスの均衡を図るとともに、高金利の地方債の繰上償還や起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

●**ラスパイルズ指数**  
旧来からの給与体系により、類似団体平均を上回る100.8となっている。しかし、人件費の縮減は本市の命題でもることから、縮減努力を行い、平成18年度においても手当の抜本的見直しを行っている。今後は、年功的な要素が強い給料の運用について改めるなど縮減に努める。

●**人口1,000人当たり職員数**  
平成17年10月の合併により、類似団体平均を上回る7.37となっている。行財政構造改革プログラムにおける、平成17年から平成23年までに職員数を8.0%以上の実人員削減を達成させるべく職員採用計画を策定し、より適正な定員管理に努める。